

## マーケットの動き（2022年2月28日～3月4日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。ウクライナ情勢の緊迫化を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まる中、米国金利に追随する形で金利低下となりました。

クレジット市場は、国債の利回りが低下する中、年度末を控えた需給の悪化は一服しました。

## 投資環境見通し（2022年3月）

## 国内長期金利はレンジ内での動き

国内長期金利は、日銀によるイールドカーブ・コントロールを背景に、当面はレンジ内での動きになるとみています。ただし、主要中央銀行による金融政策正常化の動きがみられ、日銀の将来的な政策変更についても注目されやすく、またウクライナ情勢に対する警戒感もあり、変動率の高まりやすい状況が続くとみています。

|                         | 3月4日   | 変動幅（騰落率） |       |        |        |
|-------------------------|--------|----------|-------|--------|--------|
|                         |        | 前週比      | 1カ月前比 | 6カ月前比  | 1年前比   |
| 10年国債利回り（日本、%）<br>（変動幅） | 0.15   | ▲0.05    | ▲0.05 | 0.11   | 0.02   |
| NOMURA-BPI総合<br>（騰落率）   | 383.10 | 0.51%    | 0.00% | ▲1.25% | ▲0.30% |

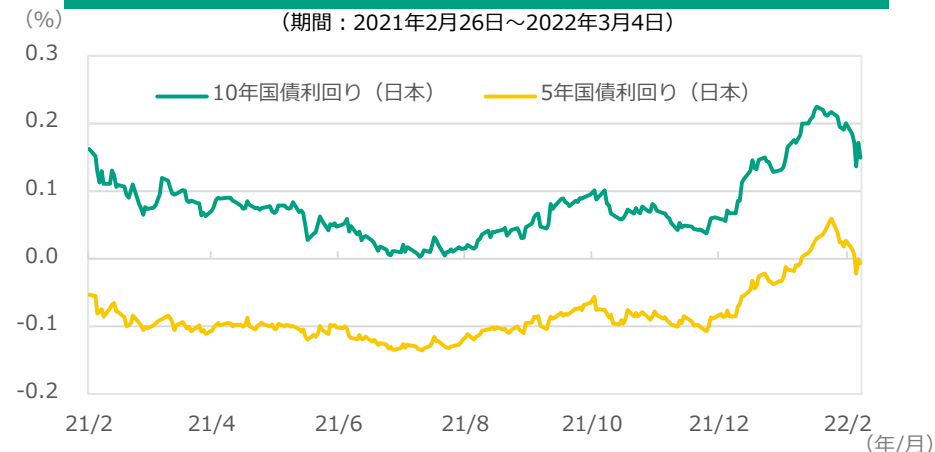
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202203\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202203_outlook.pdf)

## 日本国債利回りの推移

（期間：2021年2月26日～2022年3月4日）



## NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2021年2月26日～2022年3月4日）



※2021年2月26日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>